

白露の候、皆様いかがお過ごしでしょうか。

災害時難病患者受け入れ訓練について



令和5年8月29日（火）令和5年度静岡県総合防災訓練における難病患者受け入れ可否照会へご協力をありがとうございました。

<当日の訓練の状況>

8時32分 県疾病対策課から拠点病院へ訓練メールが送信

8時44分 拠点病院から協力病院へ難病患者受け入れ可否状況照会を一斉送信

10時30分 拠点病院から県疾病対策課へ照会状況を報告

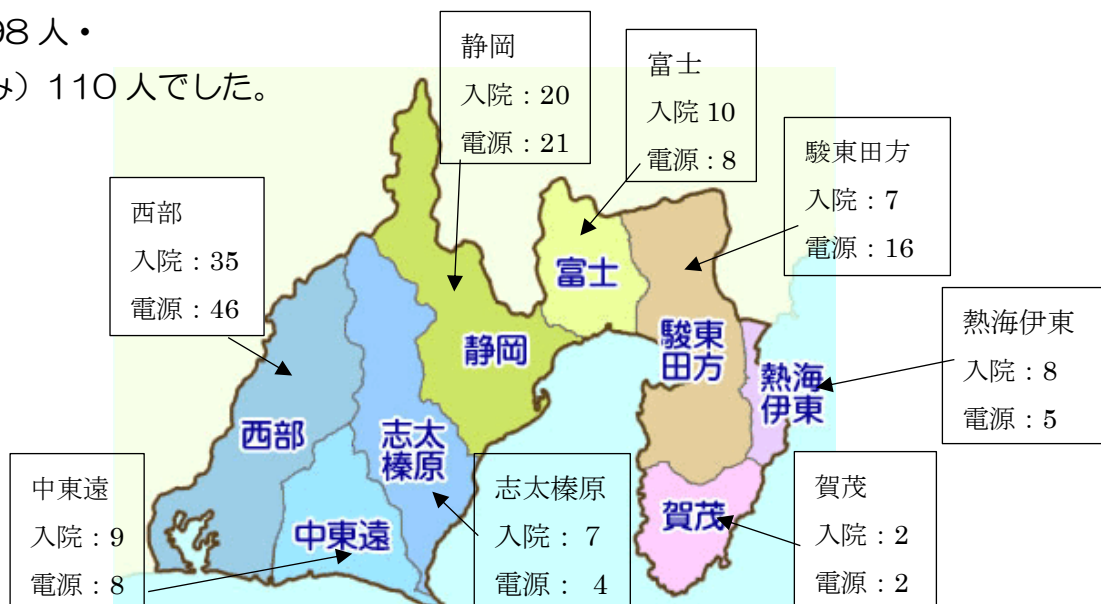
- ・協力病院から拠点病院への報告数 31
- ・人工呼吸器装着者受け入れ可能総人数 ※拠点病院も含む



（入院）97人（電源のみ）105人

10時30分以降の協力病院から拠点病院への返信を含め、本訓練全体では、協力病院から拠点病院への総報告数 33・人工呼吸器装着者受け入れ可能総人数（入院）98人・

（電源のみ）110人でした。



2013年に本訓練が開始され、感染症拡大に伴う訓練中止期間を経ながらも、訓練の回数を重ねると照会スピードは上がり、参加病院は増えております。本訓練が契機となり、難病患者への各病院の災害対策意識・対応準備は向上し、災害発生時の連携・協働につながると考えます。今後ともご協力をお願いいたしますとともに、災害時メーリングリスト（担当者変更等）に変更がある時は、速やかに当相談室までご連絡下さいますと幸いです。

令和5年度難病医療従事者講習会(Web)について



<第1回>【終了】

テーマ：筋委縮性側索硬化症(ALS)の診療と看護・介護の留意点
～ALSと認知症について～

講師：静岡てんかん・神経医療センター, 浜松医科大学先端医学教育研究センター
特任研究員客員准教授 寺田 達弘 先生

参加状況：再生回数 391 回

受講者アンケート結果（抜粋）

- ・業務の参考になった 98.8%
- ・ALSの支援に認知症としての対応が必要なことがわかった。
- ・患者の人工呼吸器装着により、介護者が先に亡くなる可能性があることや患者の子どもが患者の介護者となり、子どもの人生と介護が切り離せなくなるなど考えさせられた。
- ・患者の認知機能が低下しない段階で、生命や人生にかかわる話し合いを患者本人、家族、看護・介護者を含め行う大切さがわかった。

<第2回>【開催中】

テーマ：認知機能低下のある難病患者のパーソン・センタード・ケア

講師：浜松医科大学医学部看護学科 老年看護学教授 鈴木みずえ 先生

配信期間：令和5年9月1日～令和5年10月31日（You Tube 限定配信中）



<第3回>【開催予定】

テーマ：難病患者・家族の意思決定支援（仮）

配信期間：令和5年12月～令和6年1月



難病医療従事者講習会参加のお願い

令和5年度難病従事者講習会は上記3回となっております。この講習会は難病医療・看護・介護等の向上、均てん化を目的に、静岡県内の難病医療従事者を対象に実施しています。今後の講習会の実施について、対面実施・Web配信・ハイブリッド開催等、講習会参加者の希望を教えてくださいたく、アンケートもご依頼しております。是非、講習会にご参加・アンケートにご協力をお願い致します。

難病医療従事者講習会の講師募集

令和7年度（2025年）難病医療従事者講習会の講師を募集いたします。自薦・他薦は問いません。このような事例を経験したので静岡県難病医療従事者へ伝えたい、この先生の講義を拝聴したい等がございましたら、その旨をお知らせください。講師経験がなく、講義の方法等についてご質問があれば、当室でご相談を承ります。

